

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	地域ブランド力強化事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	2 款 1 項 14 目	事業番号	491	所属長名	大谷 基文
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	本田 真	
法令根拠等	伊予市ブランド認定制度実施要綱				実施期間	【開始】	平成 28 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 食と食文化を活かしたまちづくり					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	食と食文化を活かしたまちづくりを推進するため、伊予市の「食」と「食文化」を代表するような産品をブランド認定する。						
事業の対象	市産品 (原則として伊予市内で生産あるいは製造された農林水産物、加工食品、工芸品又は工業製品をいう。) を製造する事業者 (農林業、水産業、食品加工業若しくは製造業を営む個人、法人又はこれらを営む者で組織される法人若しくは団体であって、原則として市内に住所又は主たる事業所を有するものをいう。)	事業の目的	数ある伊予市の産品の中から、「伊予市ブランド」を選抜し、これを軸に周知イベント・販売イベント等を展開することにより、知名度の向上、販路開拓、担い手の発掘育成を図っていく。				
事業の内容 (整備内容)	本年度ブランド認定を行い、来年度以降ブランド認定品のプロモーションを中心に周知イベント・販売イベント等を年間を通して開催していく。		昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)								
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績			
直接事業費		0	1,068	0	0	897	ブランド認定数	件		10	12	12			
財源内訳									ブランド認定品周知イベント	回					
国庫支出金		0	1,068	0	0	897									
県支出金		0	0	0	0	0									
地方債		0	0	0	0	0									
その他		0	0	0	0	0									
一般財源	0	0	0	0	0	0									
職員の人工 (にんく) 数	0.82	0.82				0.82									
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086									
※ 直接事業費+人件費	6,594	6,631				7,528									
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)												
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計					
					1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000					
成果指標	指標	ブランド認定を行い、その知名度を向上させ、伊予市と伊予市の産品をより多くの人に認知してもらうために、周知イベントを年間を通して開催していく。	単位	回	⇒	区分年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標 毎 年度					
	指標設定の考え方	ブランド認定事業のうち、認定に関することは全体の事業の中でもあまりに過ぎない。認定した産品の知名度向上、産品を通じて「伊予市」をPRすることが重要と考え、周知イベントの回数を指標とする。	目標	3											
	指標で表せない効果		実績	3											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		今年度、新規事業として伊予市ブランド認定制度の設立を目指し、認定制度の制定、認定製品の募集、選定、認定品を決定し、12品目を認定した。今後の課題としては、認知度の更なる向上を目指した、PR活動の継続をどう勧めていくか、また、次年度以降、新たな産品を認定するにしても、市としてブランドをどう考えているか、どう活かしていくかの共通認識を持つことが重要だと考えている。								
事業	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。概ね、施策の目的に沿った事業である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点 今年度、12品目をブランド認定し、三大都市圏を含む県内外でPR活動を行った。当市としては初の試みではあるが、市のPRも含め、認知度は活動以前と比較すると格段に向上したと思われる。 今年度、新規事業として伊予市ブランド認定制度の設立を目指し、認定制度の制定、認定製品の募集、選定、認定品を決定し、12品目を認定した。認定後は三大都市圏を含む県内外でPR活動を行い、認定産品と市のPR活動を積極的に行った。 認定制度自体、伊予市としては初の取り組みだったので、他市町村の事業も参考にしつつ、伊予市の現状にあった制度設計を行った。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	この事業では施策の目的を果たすことができない。社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	3				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	市民生活や行政内部の課題解決になっていない。既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。施策推進への貢献は多大である。	5				
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3					
		コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	5					
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。概ね、施策の目的に沿った事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		事業の苦勞した点・課題 新規事業であるため、すべてが手探り状態で進めていたので、常にこれでいいのかという不安はあった。今後については、認定制度については有識者の意見も参考にさらに、伊予市にあった制度へと改善していく必要がある。また、認定品についてもPR活動の継続、新規認定品の選定なども検討が必要と思われる。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	この事業では施策の目的を果たすことができない。社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	市民生活や行政内部の課題解決になっていない。既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。施策推進への貢献は多大である。	4					
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4						
	コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4						
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	4						
評価	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。概ね、施策の目的に沿った事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性 ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 目標に掲げる「伊予市の食と食文化を活かしたまちづくり」に繋げるためにも、「ますます、いよし。ブランド」による伊予市の知名度アップ、販路拡大等に必要事業であるため、事業継続の必要があると判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	この事業では施策の目的を果たすことができない。社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4				
評価	一次判定 (所属長)	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識 「ますます、いよし。ブランド」認定品のPRの方法等について、更に研究する必要がある。 また、今後の認定制度の方針についても、認定審査会において協議検討し、明確な方向性を確立する必要がある。	
			コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4				

施策を踏まえた判断	二次判定	<input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 認定するのが目的でなく、更なる知名度UPとブランド製品の販売実績効果検証をする。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
------------	------	-----------------------

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する。	コメント欄 二次判定の内容を踏まえ、さらに重点化すること。
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。		
	<input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。		
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を行う。		
	<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。		
	<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。		